

## 令和2年度第3回千葉市図書館協議会議事録

1 日 時 令和3年3月23日(火) 10時00分～11時30分

2 場 所 千葉市消費生活センター3階 研修講義室

### 3 出席者

#### (1) 委員

吉野知義 委員長・綾部輝幸 副委員長

亀山恵美子 委員・石渡明子 委員・能勢仁 委員・江波戸正子 委員

松尾修一 委員・木元美子 委員

#### (2) 事務局

安部中央図書館長・高石みやこ図書館長・山崎花見川図書館長・

平岡稲毛図書館長・中島若葉図書館長・和田緑図書館長・村田美浜図書館長

太田中央図書館情報資料課長・楠瀬中央図書館情報資料課担当課長補佐

山崎中央図書館管理課長・市川中央図書館管理課担当課長

#### (3) 傍聴人

9人

### 4 議 事

(1) 令和3年度予算及び事業計画について

(2) 千葉市子ども読書活動推進計画(第4次)の策定について(報告)

### 5 概 要

(1) 令和3年度予算及び事業計画について

(ア) 令和3年度予算及び事業計画について〔事務局説明〕

(イ) 質疑応答・協議

(2) 千葉市子ども読書活動推進計画(第4次)の策定について(報告)〔事務局説明〕

### 6 会議経過

<開 会>

○会議資料の確認

○中央図書館長あいさつ

○事務局より協議会の成立について報告

○会議の公開について

○図書館協議会委員長あいさつ

<議事>

#### (1) 令和3年度予算及び事業計画について

吉野委員長 それでは、議事(1)令和3年度予算及び事業計画について事務局から説明をお願いします。なお、質疑につきましては、議事の説明後に、お願いいたします。

山崎管理課長 管理課長の山崎でございます。議事(1)令和3年度予算及び事業計画に

ついて説明いたします。

《議事(1)令和3年度予算及び事業計画に関する説明》

吉野委員長 ただ今の説明について、ご質問・ご意見がありましたらお願いいたします。

能勢委員 新しい事業予算の中の電子書籍整備ですが、やっと始まったかなということで大変ありがたく思っております。電子書籍の購入にあたって、コロナの騒ぎがあったときに、内閣府の方で地方創生臨時交付金が市ではなくて、都道府県に1兆円出ております。電子書籍にあたって300万円計上されておりますが、その出処はそれに該当するのでしょうか。

これ(電子書籍)が始まったのはだいぶ古いですね。多分、サービス機関はライブラリエというのを使うのではないかと思います。これは、講談社と角川書店と紀伊国屋書店が出資をして、現在運営に当たっているのはJDLS、ジャパンデジタルライブラリーサービスがあたっており、学校図書館や公共図書館に本を納品している団体として入っています。国自身としてもコロナの危機にあたって、1兆円出し、その中にはっきり謳っているんですね。図書館のパワーアップ事業ということで、インターネットや電子書籍についての金融的な支援をしますと。そこで財源について知りたい。

太田情報資料課長

今回の電子書籍については、来年度予算ということで、市費で用意しております。

能勢委員 公共図書館の中で、電子書籍の普及がとても遅れている。確か4%しか電子書籍を入れている公共図書館はない。なぜなら高いからです。関東地方で一番進んでいるのはさいたま市の図書館です。千葉県内でも四街道、八千代、木更津、小さいところでは長柄の町立図書館でも入れていますね。千葉市は100万都市であるから、ぜひこれを進めていただきたい。千葉市の図書館は随分頑張っていると思いますが、政令指定都市の中で、資料費が18位とピリから3番目で、その点ではお金に乏しいのかと思われます。今回県に対してお金が出ているわけですから、有効に使っていただければありがたいと思います。

安部館長 能勢委員から励ましのお言葉ありがとうございます。先程の説明を補足させていただきますと、来年度の電子書籍は市費なのですが、地方創生臨時交付金につきましては、昨年度中に別の用途 Wi-Fi の整備、消毒液の購入、ブックトラックの購入に使わせていただいております。電子書籍については具体化されていなかったため、すぐにキャッチアップすることができず、これからは十分気を付けていきたいと思っております。

電子書籍の展開につきましては、吉野委員長が図書館協議会とは別に、千葉市図書館ネットワーク協議会の理事を務めていただいております。ネットワーク協議会は千葉市内にある大学や研究機関等の図書館、約25館が集まってネットワークを組んでいるものですが、そこにおいて既に先進事例がございます。神田外語大学や千葉大学等に、研修会で発表をいただき勉強させていただきました。これをもって今後効果的な施策展開をしていきたいと考えております。

吉野委員長 ありがとうございます。ご紹介いただきありがとうございます。その他ご意見・ご質問ありますでしょうか。

石渡委員 花見川図書館について伺いたいと思います。花見川図書館とこてはし台公民館が複合になり、敷地は花見川図書館のところを使うということによろしいでしょうか。そのことについて、詳しく教えていただけたらと思います。

市川管理課担当課長

花見川図書館の1階部分を図書館、2階部分をこてはし台公民館ということで、両方とも築40年を経過し、昨年9月に空調が壊れまして、急遽話が上がりました。方針決定後、地元住民・自治会を通じて話をさせていただき、理解をいただいたうえで進めております。花見川図書館にも周知文を掲示し、公民館では利用者説明会を行って進めております。花見川図書館については、多目的トイレとエレベーターを新たに増設、3年以上読まれてない本を4万冊整理して行く予定です。

石渡委員 ありがとうございます。そうしますと、公民館の場所は他のことに利用するということでしょうか。

市川管理課担当課長

まだ利用用途は決まっていないのですが、今後地元の皆様と話し合いをしながら決めていくと聞いております。

石渡委員 友人がこてはし台におり、話を聞くと、図書館を利用している人はあまり知らないような感じでした。割とお年寄りの方が多くなっている地域であり、公民館や図書館を大事に考えている地域だと思うので、よろしく願います。地区館として、花見川図書館が形を変えていく可能性はあるのでしょうか。

市川管理課担当課長

規模は縮小、千葉市の資産経営の評価を受けてコンパクト化となるが、当面現在の形で地区館という整理で進めさせていただきます。今後、図書館ビジョン 2040の中で、地区館の専門的機能とあるので、それも含めて今後の検討課題と考えております。

吉野委員長 ありがとうございます。続きまして、木元委員お願いします。

木元委員 花見川図書館の複合化に関連してお聞きします。先ほど地区館のまま維持するとおっしゃいましたが、予算及び事業計画(案)の7ページ。「今後専門的な図書館」と「サービスポイント」と地区館の方が分けられる計画と出ておりますが、改修後の花見川図書館がどちらになる見込みなのか。また、窓口業務委託された、みずほハスの花図書館というのは、どちらの方に位置付けられているのかお聞きしたいのと、サービスポイントと整備した施設は民間機能を活用した運営体制を導入すると書かれているが、地区図書館や分館はその地域のコミュニティの中心となりますし、まちづくりには欠かせない。特に、こてはし台公民館は欠かせないとお聞きました。そういった大事な場所ですので、人口が減った地域だからこそ、直営で運営するのが、行政の責任ではないかと思うのですが。直営ならば、市の他の機関と連携することが可能です。窓口業務委託になると間に民間業者が入ることになり、地

域住民と図書館とがボランティア活動する際も働きかけがしにくいと聞いております。サービスポイントとして整備した施設の民営化機能を活用した運営の導入には私は反対と言っておきたいと思えます。それと花見川図書館の改修については、自治会の方に説明があつて、周辺自治会では回覧されており、こてはし台では説明会があつたとお聞きしました。ただ、周知が十分ではないのが一点と、花見川ではなく令和3年度の予算にはないのですが、若葉図書館の移転計画というのが、資産経営部から出ておまして、こちらも、令和2年5月に資産経営部が千城台地区の小学校が移転した跡地に移転するというのが、「千城台地区学校跡地施設活用検討委員会」で協議され、12月に移転賛成として市長に報告されてしまいました。この検討委員会では移転の賛否だけであり、図書館について、具体的な内容まで求められていません。市の広報で意見の募集がありました、図書館が対象となっていることは分かりませんでした。どちらも図書館の移転・複合という利用者にとって大きな問題なのに何故、図書館協議会で諮られることがなかったのか。教育振興財団の指定管理や民間委託に繋がるのではないかと懸念し、委託に反対です。図書館の運営に関わる問題を図書館協議会に諮問し、市民の意見を聴きながら、利用者の視点を大切にしてお応すること強く望みます。

吉野委員長 ありがとうございます。事務局からお願いします。

市川管理課担当課長

花見川図書館については、地区図書館として、オープンする予定です。サービスポイントとして整備したところで、土気図書室が3月9日にオープンしております。「図書館ビジョン2040」では委託化の検討をしておりますが、当面、直営の方向です。ただし、図書館ビジョンの中で民間機能の活用は有効な手法の一つと考えていますので、今後検討していきますので、ご理解いただければと思います。周知が十分でないということは今後、図書館の中で検討していきたいと考えております。若葉図書館については、資産経営部主導で一部の自治会で方向性が出ておまして、移転については、了承。ただし、若葉区全体の意見を聞いている訳ではないとの意見もあり、具体的な内容については、今は分かりません。

木元委員 若葉図書館の移転について、協議会の賛成で決定しているのでしょうか。

市議会等で話し合うと思うのですが、図書館のことが図書館協議会で話し合わないことが疑問なので、是非協議会で話あっていただきたいと思えます。

予算の方で質問させていただきます。管理費の中で、みずほハスの花図書館の委託料というのは中央図書館の管理費用に含まれているのですか。また、仕様書のほうに評価を行って、改善点があつた場合には申し入れをするとあるが、申し入れがあつたのか教えて下さい。

安部館長 若葉図書館の件について、お答えします。昨年12月9日に市長に対して、「千城台地区学校跡施設の活用素案に対する回答書及び意見要望書」というものが出ております。その中で結論としては、概ね了承するというのを回答するとされております。ただ意見要望というものがついておまして、図書館として現

在地での建て替えの要望も多かった。そこで、「広く若葉区民の理解を得られるよう丁寧な説明を行っていただきたい。」また、「図書館は余暇として図書を楽しむスペースと自習としてのスペースを分けて幼児・学生から高齢者まで幅広い世代が利用しやすい空間をつくっていただきたい。」「図書館と公民館は複合施設とし、将来電子化が進み、書棚等のスペースに余裕ができた際は、公民館のスペースとして活用できるなど、将来の変化に対応できるものにしてほしい。」「図書館は駅近でこれまで慣れ親しんだ多くの利用者があることを踏まえ、本の貸出等ができるサービスポイントを、商業施設を含む千城台駅周辺に設置していただきたい。」こういった意見が出ております。そこで、昨年度は千城台の地元の方の意見を資産経営部として聞いた。新年度になってから、若葉区全体としての合意形成を図っていくと聞いており、意見を踏まえながらやっていくこととなります。また、箱モノ、施設の在り方について、税金の使い方になります。先程、能勢委員から書籍の購入費用、政令市中ワーストの方とご指摘がありました。私共も認識しております。施設の維持管理及び人件費に係るものの割合が千葉市は高い構図がございます。そこで、どのような予算の配分、税金の使い方が最もふさわしいのか、ということ直営の良さ、民間委託の良さ、自動化の良さ、これのベストミックスを考えながら、検討していく。これが公務員の責任ある仕事だと考えております。最終的には予算を認めるのが市議会でありますので、市民全体の意見を踏まえていることとなります。しかしながら、皆様方の意見を聞くことは可能なので、協議会の場でお願ひします。

山崎管理課長 みずほハスの花図書館の運営ですけど、予算額、約3千4百万円程ございまして、中央図書館の管理運営費の中に含めております。また、モニタリングの結果を毎月担当者と会議を行っております、その中でアドバイス及び相談を受けております。タブレットの使い方ですとか、地元の小学校のハスの花の関係ですとかのアドバイスを定期的に行っておりますし、クリスマス時に絵本を袋の中に入れる企画提案のアドバイスも行っております。

吉野委員長 ありがとうございます。その他にありますか。松尾委員お願いします。

松尾委員 一番初めに能勢委員から県の方に1兆円という話がありました。これまでは県と市の立場は難しい関係にあったのですが、ご存知のように県のほうに千葉市長であった熊谷さん。副市長であった神谷さんが市長になられたことによって、県と市の関係が良くなります。今までですと、県にあったものは政令市である千葉市に回ってくることはありませんでした。千葉市で持っていたヘリコプター2機は千葉県で活動することが非常に多かったが、県からは予算が出ておらず、要望はしていたが、門前払いを受けていた。そういったことが大分改善されるのではないかと考えております。木元委員からありました、民間事業者のことですが、全国的に見ても民間が多いんですけど、民間のいいところ、悪いところは見極める必要があります。民間だから悪いという前提はどうかと言われます。民間事業者だから悪いということではないです。いかにしてコントロールしていくか

を行政のスキームだと思しますので、そういったところを理解しないと資産経営というのは千葉市全体の中で予算がどうやって使われるかという時に、図書館の位置はなかなか難しい。最初にセーフティーネットワークである道路や水道の整備、生活保護費などの社会保障費だとか、予算が100円あったとすると、60円70円がそこにかかっている状況で30円をどうやって分けていくかを、行政担当者は知恵を絞って新しいものを取り入れて改善していかないと予算は確保できない。アイデアを出さないと、今まで通りというのは難しい中で工夫して実績をつくっていくことは大事であって、今年度の予算をある程度あげられたのは、私としては評価したいなと思っております。今後は計画を遂行することを見守っていきたい。予算を確保し、計画にのっとった実施を期待したいし、すべきだと考えております。

吉野委員長 ありがとうございます。その他にありますか。石渡委員お願いします。

石渡委員 稲毛図書館の空調設備の改修の関係と電子書籍と市民インタビューの説明をお願いします。

平岡稲毛図書館長

稲毛図書館の平岡でございます。稲毛図書館の空調設備の改修工事ですが、市全体の改修工事の中から建築部が計画的に実施しているものでございまして、図書館費とは別に組まれているものです。

太田情報資料課長

電子書籍の300万円につきましては、新規の導入費用、毎月のクラウド利用料。初期費用の中にサービスパックのような形で何千冊の提案の中から導入していく形になります。記憶の保存事業につきましては、今年度も行っているのですが、インタビューという形で千葉市の過去のことなど、今年度は大賀ハス、加曽利貝塚であったり色々な資料が出ているので、携わった方にサイドストーリーをお伺いするという事で業者に委託してインタビュー、録音等をお願いする形になっております。

市川管理課担当課長

地域情報サービスの一部について説明させていただきます。こちらについては、昨年度から継続しておりますデジタルアーカイブの関係で「千葉市史の通史編」を、今年度1巻を公開しておりますが、2巻の公開に係る経費でございます。

石渡委員 ありがとうございます。インタビューの記事ですとかデジタルアーカイブを利用するにあたる宣伝というか広報に関しては進んでいるのでしょうか。

市川管理課担当課長

市政だよりの方で新たな生活様式として接触しないで閲覧等できるようなものをまとめて掲載しているのと、ホームページ等で掲載しております。今回導入したシステムは他都市と連携できるような形になっており、周知に努めて参ります。

太田情報資料課長

インタビューにつきましては、まず、情報収集を行い、提供方法については紙では行わない方法を考えておりますが、具体的には決まっております。

吉野委員長 はい。ありがとうございました。能勢委員お願いします。

能勢委員 先程電子書籍の話がありましたけど、公共図書館は4%しか普及していない。高いことが原因でもありますけど、電子書籍を扱っているさいたまの例ですと貸出しが4倍になったそうです。行かないで借りられる、夜中でも借りられるという理想的なクラウド型のサービスだと思いますが、業界的に紙の売上が6,000億、雑誌が5,000億、電子書籍が4,000億で、まもなく雑誌を抜くだろうと思います。それ程電子書籍は伸びているが、そのうちの80%~85%はコミックなのです。電子書籍が伸びないというのは、出版社の上位4社が電子書籍で利益を上げている。電子書籍で振り回されてコミックで図書館が荒らされないように注意していただきたい。伸びない理由は、中堅の出版社が利益が出ないということで、電子書籍をつくらないというのが1番の原因だと思います。コミックが悪いという訳ではないが図書館は対応を考えていただきたいと思います。

木元委員 今の電子書籍についてですが、今後資料費の中に含まれるのでしょうか。その1点と令和2年度と令和3年度の資料費について、増えたとなっているのですが、平成29年度が5億3千万。令和3年度が5億1千万。かなり減っており、地区館については、年々減っているのです。資料費については是非確保できるよう努力をお願いします。

太田情報資料課長

電子書籍につきましては、臨時的経費で使用料という予算になります。今後資料費の中で電子書籍を行うようになり、資料費の中に含まれていくと思います。

山崎管理課長 補足ですが、今回は資料費の中に含まれております。

綾部委員 新規事業について2点お伺いします。1点目は電子書籍の導入ということで、市民に注目されることは間違いないと思います。最初に電子書籍を見てあまり魅力的でないと使われなくなってしまうので、最初の選書が非常に重要だと思います。次の議題の子ども読書活動推進計画の中にも電子書籍があるので、一定の児童書とか絵本が入ってくるのかなと思います。今現在で電子書籍としてどのような資料収集をするのか。また、パッケージというか提供元をどのように考えているのか、開始予定時期を合わせて伺いたいと思います。2点目は「知」のアーカイブ計画のところ、市にとって非常に重要な事業だと思いますし、千葉市の図書館が担うことも「図書館ビジョン2040」にあるように非常に重要だと思います。お聞きしたいのは、少ない人数に話を聞くという事業でよろしいでしょうか。もう一つのやり方としては広い市民の方からある程度話を聞くという方法もあると思いますが、その辺りのところをお聞かせいただければと思います。

太田情報資料課長

まず、電子書籍についてですが、この間、ネットワーク協議会の方で参考にさせていただきましたので、活用させていただきます。選書についてですが、最初の質とかボリュームは重要だと思っております。ただ、予算の限りがございますので、業者提供されているパッケージのもの、数千冊あると聞いておりますので、

そちらを活用することによって、電子書籍を複数人で閲覧することができるメリットがあります。それと同時に青空文庫を使えるメーカーさんもありますので、初期の導入冊数は多めにと考えております。開始時期については、7月から8月と考えております。開始後1月頃に追加の購入ができればと思います。「知」のアーカイブについてですが、インタビューの話になりますが、あまり広く聞いてしまうと、散見してしまいますので、ハスの花の関係と加曽利の関係に絞って話を伺うことによって色々な経験がある方がいらっしゃればそちらも聞きにいくと考えております。また、千葉県内に住んでいる方から昔の話をしたいと伺っておりますので、状況に応じて追加のインタビュー等の記録をしていきたいと考えております。

綾部委員 ありがとうございます。「知」のアーカイブのほうなのですが、予算300万円という規模感が分からないのですが、システム構築等は含まないで、インタビューに限定しているのでしょうか。

市川管理課担当課長

2年度にシステム構築をしてランニングコストが一部入っております。プラス令和3年度は千葉市史通史編のアーカイブ化が300万円の中に入っております。

綾部委員 分かりました。既にシステムが構築されているのであれば、公開がなるべく早くされることを望みます。

市川管理課担当課長

周知が行き届いていなくて申し訳ありませんが、3月1日に公開しております。

吉野委員長 色々ご意見いただいておりますが、他よろしいでしょうか。では、議題1はここまでとさせていただきます。ご報告いただきました、令和3年度事業計画につきましては、計画どおり有効に進めていただくよう、よろしくをお願いします。

では、次の議題に入りたいと思います。「千葉市子ども読書活動推進計画(第4次)」の策定について、事務局からご説明をお願いします。

市川管理課担当課長

《議事(2)千葉市子ども読書活動推進計画(第4次)の策定について説明》

吉野委員長 ご説明ありがとうございました。ご報告いただいた、「千葉市子ども読書活動推進計画(第4次)」につきましては、3月中の公表になりますので、ご了承をお願いいたします。

木元委員 子ども読書活動計画についてですが、前の協議会の時に協議会の前に意見を出して、意見一覧が中央図書館の方で協議会の資料を閲覧しようとしたらこれが無かったという方がいらっしゃったので、もう一度確認して、もし無かったら閲覧できるようにしていただきたいと思います。意見がたくさん出たのに修正があまり無かったのは残念です。一つ質問なのですが、子ども読書活動計画を推進するために色々な施策や事業によって様々な所管が入っていますが、どこが主導して物事を進めていくか決められているのでしょうか。新規事業のところでは聞き忘れちゃったのですが、新規事業の3番の学校図書館運営委員会というのは私もボランティアで参加したのですが、どの部分が新規になるのか。こちらに関しても、



学校図書館の運営委員会をどこが主催してするのか、各学校はどちらの図書館と連携するのか。学校が図書館の方をお願いするのか、図書館の方から学校に連絡するのか、具体的に進めていく課を教えてください。

市川管理課担当課長

中心となっていく課については、一番上の課から順番になっており、基本は一番上が担っていくことになり、関連して協力していくのが、括弧がついていない課であり、括弧がついているところは関連しているが、受ける側というイメージでみていただければと思いますので、一番上の課にお話いただければと思います。学校図書館の運営委員会ですが、学校から依頼がありますので、依頼があったら、できる限り受ける方向でお願いをしました。

木元委員 今までは学校は図書館や公民館に依頼をしていなかった。そこが新規になるのでしょうか。

市川管理課担当課長

そこをしっかりと学校側に伝えて、図書館の知識を活用して連携してくださいということで記載させていただきました。

協議会の資料の閲覧については、確認させていただきます。

能勢委員 推進計画の具体的な中で気になることがあるので、質問させていただきます。読書手帳の配布がありますが、物凄く成功した市の宝だと思います。読書手帳をもっと普及させるために市立の保育所に必ず配布していただきたいのと、新学期だけでなく、途中で無くすのでもう一度配布する。15の図書館を回ったが上手に読書手帳を使っている。学校に入る前に読書の癖をつけるということに読書手帳は非常に役に立つと思います。みつわ台公民館図書室は地域と密着し、うまく読書手帳を活用しています。公民館図書室を通して読書手帳を活用するという方向もあるのではないかと思います。是非、年長組、小学校については、新年度だけでなく、繰り返し配布しないと効果がでないと思います。

石渡委員 2点お話をさせていただきます。1点は子どもの本のことなのですが、児童青少年班の方々が努力されており、文庫連絡協議会と懇談させていただいたのですが、ブックリストも改訂されており、勉強されている。青少年向けの本は色々な本が出版されており、大人が読んでも読み応えがある様々なテーマの本があるので、子ども達に読んでもらえるように私達も頑張っていきたいです。もう一つの質問は、今年度例年と違う仕事で大変だったと思いますが、新しい生活習慣というかこの状況下にあって、どのように計画に盛っていくのかと思いました。

吉野委員長 ありがとうございます。事務局からありますでしょうか。

市川管理課担当課長

子ども読書活動推進計画の中で入れるか、入れないで悩んだところが電子書籍であり、子ども限定のところでは判断したのですが、絵本は紙で見た方が良いという意見もありますし、新たな生活様式で電子化をしていくことも必要だろう

というなかで、電子書籍を計画に含んでおります。しょうがい者の関係もありますけど、そういったところは考慮した点でございます。

吉野委員長 ありがとうございます。松尾委員お願いします。

松尾委員 能勢委員の方から読書手帳のお話がありましたが、私ども、民間保育協会にいますので、今年も各保育園さんに配るのですが、0・1・2歳児というのは特に視覚聴野脳の発達時期で凄く大事な時期なんですね。今、電子書籍の話がありましたけど、京都大学の先生が脳のことを科学的に調べていて、ある絵本を実際に読み聞かせた時と比べて、デジタルで動画を見せた時、画面を見た時の子どもたちの反応ですが、内知的なものが発達しないことが科学的に分かっている。保育園に行っている子が上のお兄ちゃんが読書ノートを使っているのを見て、自分もやりたいと。読書ノートを楽しみにしているという話がありますので、非常にいいかなと。ゆとり世代とかありますけど、コロナ世代と言われられないような子ども達にしなければいけない。電子書籍を入れる場合でも、簡単だからいいとかではなくて、子ども達の脳の発達を考えた時、読み手である方々の力があるかに強いものだから、そこは信念として持っておいてもらいたい。電子書籍はパッケージになっているので、図書館が本を選定できない。そこは非常に問題だと思っていて、事業者の選定を間違ってしまうと読み手に伝わらないものを選んでしまう。いいものであることは間違いないのですが、図書館機能として本を選定するという大事なことが欠けるということが難しいのかなと、今後の課題だと思いますが、丁寧にやって頂ければと思います。

吉野委員長 ありがとうございます。子ども読書活動推進について、色々ご意見ありがとうございます。木元委員お願いします。

木元委員 松尾委員のご意見、凄くありがたく思います。私もボランティアで千葉市の民間の保育所に行かせてもらっております。「ひだまりっこ」とかに協力させていただいております。令和2年度はコロナ禍で図書館業務に大変影響があったかと思えます。今後、令和2年度の評価を行うにあたって、その影響をきちんと評価の中に入れていただければと思います。

吉野委員長 ありがとうございます。最後に一言。

能勢委員 現場の話ばかりで恐縮ですが、各館長さんがおりますので、話させていただきます。紙しばいの話が出ており、講習というのがあるのですが、15の図書館を回り、紙しばいの管理が全く出来ていなかったが、泉分館は最高の管理をしていました。ジャンルに分けてある。非常に心のこもった紙しばい管理をされている。是非、分類だとかジャンル別に直して、書名をつけられれば一番良いです。また、今日のテーマは子どもの読書ということで、15の図書館を回り、圧倒的に素晴らしいのが、みずほハスの花図書館です。子どもの読書の本は管理されています。私はどちらかというと批判的にみていたのですが、大変うれしく思います。なにが違うかという複本ですね、複本の並べ方がしっかりしており、素晴らしい図書館だにご紹介したいと思いました。

吉野委員長　ありがとうございました。それぞれの図書館の活動をみていただき、貴重なご意見ありがとうございます。以上をもちまして、本日予定しておりました議事は終了いたします。限られた時間の中で、貴重なご意見をありがとうございました。また、議事の進行に対しまして、皆様方のご協力をいただき、誠にありがとうございました。

<閉会>

**【問い合わせ】**

千葉市教育委員会事務局

生涯学習部中央図書館管理課

TEL 043-287-4081